

## 音読いろいろ

ある研究会で「たけのこ読み」という言葉が飛び交いました。交代読み、追いかけて読みなどの実践紹介もありました。そこで、かつて、あまり、気にしないで実践をしてきた音読を思い出し名前をつけました。

☆足し算読み(○読みの工夫をしたもの。集中力が育ちます

※引き算読みはダメ)

☆はさみ読み(教科書の分かち書きを活用・1年2年に効果がある☆交代読み)

☆段落読み(段落ごとに交代をして読む)

☆重ね読み(大事な語や文に線を引く。それを音読に入れ込む詩や説明文の指導で役立つ)

☆会話文(会話文だけ音読する。あらすじが理解できる)

☆唇読み(声に出さないで読む。黙読ができるようにするための過程)

☆グループ読み(段落を決めて一人が責任を持って読む。4回繰り返す)

☆ダウト読み(大事な言葉を間違えて読む・クイズにする)

☆主部・述部読み(主部を一人読み、述部を全員で読む※逆は効果がない)

☆段落一文節読み(主語や主部を音読を通して気づかせる。

説明文に効果がある)

☆好きな場面音読(物語の場合、好きな場面を読む)

☆微音読(小さい声で読む)

☆等距離読み(声を届かせることを意識しながら距離をおいて音読)

☆青空音読(運動場や中庭、屋上を教室にしてで読む)

☆褒め合い読み(音読を聞き上手なところをほめ合う)

☆速読(期間限定で速さに速く読むことにより文字を追う力が育つ音読)

☆段落要旨読み(指名音読・読み終えた後、要旨。要点をまとめる)

☆学習場面読み(授業で学習範囲を範囲を確かめ共有することを

目的に音読をする)

☆ステージ音読(音読台を教室に設けて気分よく音読をする)

☆交代読み(文ごとに代わり合って読むことにより、相手の読みを聴き取る)

☆解説音読(読みながら難語句や文章の内容をを解説しながら読む)

☆なりきり音読(○○になりきって音読する)

☆段落文節音読(段落を理解させる段階で、形式を理解する。説明文の読みで効果がある)

他に「追い読み」「比べ読み」「リレー読み」等